



JAP.JEALOUSY.2013

やきもちと子供同士の喧嘩

やきもちや対抗意識、わだかまりは自然な感情です。

子供たちがこうした気持ちを乗り越えられるように手助けしてあげましょう。

「子供が親兄弟とどう接するかは、親がその子とどう接しているかによる」

赤ちゃんがやってくる

子供によっては、弟や妹の誕生に極端な反応を示します。

怒りやすくなったり、赤ちゃん返りをしたりする子もいれば、弟や妹をべたべたに可愛がる子もいます。

特に、一人っ子や末っ子が、こうした反応を見せるのはごく自然なことです。

また、下の子の誕生によって不安な気持ちになり、自分はもう親から愛されていないと感じているのかもしれません。

上の子と一緒に、生まれてくる赤ちゃんを迎え入れる準備をしましょう。

そうすることで、子供には自分も大切な家族の一員であるという自覚が芽生えます。

「赤ちゃんにげっぷをさせる時はお兄ちゃんのジョーにもしてあげます」

赤ちゃんを迎える準備

- 数ヶ月前から生まれてくる赤ちゃんのことを子供と話し合しましょう。
- お母さんのお腹がふくらみ始める頃が良い時機です。
- 子供の質問には正直に答えましょう。
- 赤ちゃんの名前や準備するものについて、子供の意見も取り入れましょう。
- 上の子をベビーベッドから移す、あるいは子供部屋を交換するといった手のかかる準備は、赤ちゃんが生まれる前にしておきましょう。
- 赤ちゃんが生まれる場所や、お母さんの入院について子供に説明しましょう。

「上の子にも準備を手伝ってもらいました。オムツ交換台の横に椅子を置いて、オムツ換えの様子を見られるようにしたり、引き出しに赤ちゃんの衣類をしまってもらったりしました。

また、私と一緒に赤ちゃんの本もたくさん読みました。そして、生まれたばかりの弟を抱っこしました。」

「赤ちゃんが生まれる前に上の子をベビーベッドから移しましょう」



S.K.I.P

skip.org.nz

facebook.com/SKIPcommunity

赤ちゃんが生まれたら

- 上の子が病院へお見舞いに来る時は、お母さんは赤ちゃんを抱っこせずに、ベビーベッドへ寝かせておきましょう。
- 上の子が病室に来たら、すぐに赤ちゃんを抱っこさせて写真を撮りましょう。
- 退院後は、上の子が嫌がらなければ、赤ちゃんのお風呂の手伝いやタオルの用意などを頼みましょう。
- 親が赤ちゃんを世話する様子を見て、人形のお風呂ごっこを楽しむような気持ちになる子供もいるかもしれません。
- 赤ちゃんの服を選んでもらいましょう。その際は「黄色と青、どっちがいい」というように、選択しやすい質問をします。
- 毎日、上の子と過ごす時間を作りましょう。本の読み聞かせやテレビ番組の話でもかまいません。
- 上の子が不機嫌になって赤ちゃんに危害を加えそうな素振りを見せたら、一緒に話し合しましょう。
- 子供の気持ちをたずね、やきもちは仕方ないが、赤ちゃんを傷つけてはいけないと説明します。
- 写真を見ながら、上の子が生まれた時や小さかった時の話をしましょう。

自分も仲間に関わっていると感じることは、子供にとって重要です。

一人前として認めてもらいたいのです。



S.K.I.P

skip.org.nz
facebook.com/SKIPcommunity

子供同士の喧嘩

家庭によって回数は違っても、兄弟、姉妹は必ず喧嘩をします。

しかし、他のしつけ対策と同じように、事態の悪化を防ぐためのきまりや限度は必要です。

子供は、疲労時や空腹時のほか、退屈していたり、相手の関心を引きたかったりする時や、物の取り合いなどで喧嘩を始めます。

問題解決のすべを知らない年少の子供は、大暴れするかもしれません。

子供たちは、他者との問題を解決する方法を学んでいかなければなりません。

そのためにも、コミュニケーションの大切さと問題解決の方法を教えていきましょう。

「兄弟喧嘩を止めるのにあんまり時間がかかるので、別々の場所で遊ばせています。」

アレックスが一人になりたい時は、部屋にベビーゲートをつけて弟が邪魔できないようにします。また、弟を追い出す時にはおもちゃを渡すように教えています。」

「喧嘩を始めたら干渉せずに子供同士で解決させる」

「怒りは自然な感情であり、それを乗り越える方法を教える必要があります」



S.K.I.P

skip.org.nz

facebook.com/SKIPcommunity

こんな方法も

- 子供たちが小競り合いを始めたら、親は別の部屋に移って、自分たちで事態を收拾させます。
- 子供たちだけで解決した場合は、よくやったとほめてあげましょう。
- 子供たちのことをかまってみましょう。
- 子供が退屈していないか、疲労、空腹を感じていないかを判断しましょう。
- 退屈していたら何か別のことをさせてみます。
- 親の愛情を巡って子供たちが張り合わないよう、それぞれの子供と過ごす時間を作りましょう。
- ほめる時には、他の子と差がつかないようにほめます。
- それぞれの子供が大切にしているおもちゃを整理して、共有しないで済むようにします。
- 弟や妹に壊されたくない上の子専用のおもちゃがあってもいいでしょう。
- 独創的な方法で問題を解決しましょう。
- クレヨンの取り合いが始まったら、喧嘩を始めたのが誰かをつきとめるよりも、一人に3本ずつ持たせておしまいにします。
- 喧嘩をふっかけたのが誰かは問わないことにしましょう。
- 子供たちに問題解決の方法をたずねてみましょう。
- 一人は部屋で遊ばせ、もう一人は親の手伝いをさせるなど、おしおきせずに引き離してみましょう。
- 比較したり、片方だけをほめたりせずに、それぞれの子供の個性を大切に育てましょう。
- 「一緒に遊びなさい」の代わりに「○○ちゃんの番よ」と言ってみましょう。



S.K.I.P

skip.org.nz
facebook.com/SKIPcommunity

Skipは前向きな子育てを応援しています。

詳しくは : www.skip.org.nz

電子メール : info@skip.org.nz 電話 : 04 916 3300

子育ての支援団体に関する情報は、www.familyservices.govt.nz/directory

(全国案内) をご覧ください。



S . k . I . P

skip.org.nz
facebook.com/SKIPcommunity